

# 事後評価シート

畑地帯 総合 整備事	事業名 箇所・地区名	市町村名	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象 理由 ※2	事後評価の結果 ※3	総合評価	担当課	特記事項																																																				
				着手	※1 再評価	完成																																																										
1	畑地帯総合整備 事業 七野・八重地区	宮崎市 田野町	用水路 A=305.8 ha  農道整備 L=20,531 m  区画整理 A=9.7 ha  農用地造成 A=10.5 ha	H7	—	H24	2,896	①	<p>【1 全体計画】</p> <p>受益面積： 305.8 ha (水田 110.5 ha、畑 195.3 ha、樹 0.0 ha)</p> <p>主要 工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用水路 305.8 ha (水田 110.5 ha、畑 195.3 ha、樹 0.0 ha)</li> <li>農道整備 142.7 ha (水田 54.0 ha、畑 110.3 ha、樹 0.0 ha)</li> <li>区画整理 9.7 ha (水田 4.5 ha、畑 5.2 ha、樹 0.0 ha)</li> <li>農用地造成 10.5 ha (水田 0.0 ha、畑 10.5 ha、樹 0.0 ha)</li> </ul> <p>受益者数： 215 人</p> <p>【2 事業目的】</p> <p>本地区は、宮崎市田野町中心部より西部に位置した台地で、地区内には、畑地と水田が錯綜している。露地野菜、葉たばこ畜産を組み合わせた営農の形態であるが、天水に頼っているため営農計画が実現できず、安定的な農業経営に支障を来している。このため、畑地かんがい施設を整備して土地生産性の向上を図る。</p> <p>また、現在砂利道である農道を改修し、荷傷み防止や大型機械導入を可能にすることで品質保全や作業の効率化を図る。更に、未整備団地の区画整理や農用地造成を行って、営農労力節減による農業経営の向上を目指す。</p> <p>上記4工種を本地区に導入し、国際競争に伴う影響に耐えうる体質の強化を行い、安定的な農業経営の確立を図る。</p> <p>【3 事業効果の発現状況等】</p> <p>安定的な用水確保に資する用水路のパイプライン化により、ハウスが導入され、収益性の高いきゅうり、いちご、日向夏、なす等の他、露地野菜では新たにらっきょう、ねぎ、キャベツ、たかな等が導入され、品目の多様化による農地利用の多角化が図られている。</p> <p>また、JAファーム宮崎中央において新規就農者入植団地(A=123a/ハウス賃借)が導入され、若手のきゅうり農家が参入している。(4人～6人/年で推移)</p> <p>さらには、農地中間管理事業を活用した八重地区では、地域の担い手への農地の集積が進む等、整備後の事業効果が確認できる。</p> <p>【営農体系の変化及び収益性(試算)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>整備前</th> <th>現在 ※2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">主 な 施設 園芸 作物</td> <td>水稲 ※1</td> <td>93.8 ha</td> <td>39.7 ha</td> <td>△ 54.1 ha</td> </tr> <tr> <td>野菜(きゅうり、いちご等)</td> <td>2.8 ha</td> <td>12.0 ha</td> <td>9.2 ha</td> </tr> <tr> <td>うち水稲からの転換による施設野菜</td> <td>0.0 ha</td> <td>3.5 ha</td> <td>3.5 ha</td> </tr> <tr> <td>柑橘類(日向夏)</td> <td>0.0 ha</td> <td>1.3 ha</td> <td>1.3 ha</td> </tr> <tr> <td>露地野菜等 ※3</td> <td>324.2 ha</td> <td>315.9 ha</td> <td>△ 8.3 ha</td> </tr> <tr> <td>うち水稲からの転換による露地野菜等</td> <td>0.0 ha</td> <td>27.3 ha</td> <td>27.3 ha</td> </tr> <tr> <td colspan="2">作物生産額(試算) ※4</td> <td>907,161千円</td> <td>968,118千円</td> <td>60,957千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>6.7%増</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 水稲の減については、施設野菜、露地野菜及び飼料作物への転換によるものである。</p> <p>※2 「現在」の欄の面積には、調査時点で作付準備等により作付けされていない農地の面積が含まれていないことから、詳細調査し面積を計上したうえで第三者委員会へ諮ることとする。</p> <p>※3 主に大根、里芋等の露地野菜や飼料作物。</p> <p>※4 作付け面積の増減に伴い、農林水産統計資料等を元に試算すると60,957千円(6.7%増)の生産額が増となる。</p> <p>【農地の変化】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備前</th> <th>現在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地集積面積</td> <td>30.8 ha</td> <td>191.7 ha</td> <td>161.0 ha</td> </tr> <tr> <td>農地集積率※</td> <td>10.1 %</td> <td>62.7 %</td> <td>52.6 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※農地集積率＝農地集積面積／受益面積×100</p> <p>【4 事業による環境の変化や環境の保全】</p> <p>事業実施区域内に特に配慮すべき環境資源は確認されていないが、区画整理や農用地造成においては、切土及び盛土が発生することから、法面緑化を実施し、現在は周辺の植生にもなっている。</p> <p>【5 施設の維持管理状況】</p> <p>田野町西地区土地改良区、田野町八重地区土地改良区において適切に維持管理を行うとともに、七野環境保全会(西地区)、八重地区21世紀環境保全会(八重地区)の活動団体が多面的機能支払制度に取組み、多面的機能の維持・発揮及び施設の長寿命化に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【6 今後の課題等】</p> <p>更に当地域の生産規模拡大を図り、地域の担い手への農地集積・集約化を進め、担い手の育成支援を図っていく。</p>			整備前	現在 ※2	増減	主 な 施設 園芸 作物	水稲 ※1	93.8 ha	39.7 ha	△ 54.1 ha	野菜(きゅうり、いちご等)	2.8 ha	12.0 ha	9.2 ha	うち水稲からの転換による施設野菜	0.0 ha	3.5 ha	3.5 ha	柑橘類(日向夏)	0.0 ha	1.3 ha	1.3 ha	露地野菜等 ※3	324.2 ha	315.9 ha	△ 8.3 ha	うち水稲からの転換による露地野菜等	0.0 ha	27.3 ha	27.3 ha	作物生産額(試算) ※4		907,161千円	968,118千円	60,957千円					6.7%増		整備前	現在	増減	農地集積面積	30.8 ha	191.7 ha	161.0 ha	農地集積率※	10.1 %	62.7 %	52.6 %	収益性の高い品目への転換や農地の集積などにより担い手の育成が図られ、事業効果の発現が認められる。	農村計画課	特になし
		整備前	現在 ※2	増減																																																												
主 な 施設 園芸 作物	水稲 ※1	93.8 ha	39.7 ha	△ 54.1 ha																																																												
	野菜(きゅうり、いちご等)	2.8 ha	12.0 ha	9.2 ha																																																												
	うち水稲からの転換による施設野菜	0.0 ha	3.5 ha	3.5 ha																																																												
	柑橘類(日向夏)	0.0 ha	1.3 ha	1.3 ha																																																												
	露地野菜等 ※3	324.2 ha	315.9 ha	△ 8.3 ha																																																												
	うち水稲からの転換による露地野菜等	0.0 ha	27.3 ha	27.3 ha																																																												
作物生産額(試算) ※4		907,161千円	968,118千円	60,957千円																																																												
				6.7%増																																																												
	整備前	現在	増減																																																													
農地集積面積	30.8 ha	191.7 ha	161.0 ha																																																													
農地集積率※	10.1 %	62.7 %	52.6 %																																																													

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 対象理由は、「①：全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業」又は「②：再度、事後評価の必要があると判断した事業」の番号を記載する。

※3 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。